

今週のメニュー

[トピックス](#)

J P E C 講演会が大阪、東京で開催

- 欧米の塩ビ業界を取り巻く最新情報が紹介されました -

[随想](#)

オックスフォード便り（その1）

関東学院大学 織 朱實

[編集後記](#)

トピックス

J P E C 講演会が大阪、東京で開催

- 欧米の塩ビ業界を取り巻く最新情報が紹介されました -

塩化ビニル環境対策協議会（J P E C）は、会員団体やその構成企業各社の方々、塩ビの製品に関係されている皆様に、塩ビを取巻く最近の状況などを紹介するために講演会を開催してきました。今年は、去る10月20日、大阪（大阪科学技術センター）、翌21日、東京（如水会館）でJ P E C セミナーが開催されました。今回は、「塩ビ産業を取り巻く環境と各協会の活動」をテーマに日米欧の各地区から講演がありました。講師として、欧州からは欧州塩ビ製造者協会（E C V M）の専務理事ライトナー（Leitner）氏と技術部長のセブンスター（Sevenster）氏、米国からは米国塩ビ協会（V I）の専務理事ボッキ（Bocchi）氏、日本からは、J P E C の関事務局長（東京会場）とV E C の一色環境広報部長（大阪会場）が出席しました。

講演の内容を簡単に紹介します。V E C から、広報活動の一環として取り組んでいる展示会の話題として塩ビサッシ、サイディング、床材など全て塩ビ材料でできた塩ビミニハウス（V i e n P o d）を展示した結果来場者の

目を惹いていること、次世代対策として取り組んでいる小学校向け出前授業が好評を博していること、リサイクルビジョンで支援している成果として、高速で壁紙を叩解する新たな壁紙のリサイクル技術が立ち上がり、壁紙のリサイクルに大きな弾みが期待されること、夏の日差しを和らげるリサイクル材を使った「フラクタル日よけ」が好評であったことな



講演会（東京）

どを話しました。加えて、最近では官公庁や企業で塩ビを再評価する動きがあることを、事例を交えて紹介しました。

欧州からは、Vinyl2010の進捗状況として、塩ビのリサイクルが急速に進展し、2008年には20万トン近くに迫っているが、2009年は経済の低迷を受けて若干ながら落ち込むとの見通しや、REACHに関連して、欧州企業や産業界が着実に準備を進めている状況の説明もありました。また、欧州のエコラベルの最近の動きとして、木製家具の部品や履物において塩ビの否定がなくなったことや、ロンドンオリンピックで持続可能性の点から塩ビはかなり貢献するだろうとの英国経財相のコメントも紹介されました。

VIからは、北米の塩ビ産業は、現在厳しい状況ではあるが、経済の回復と共に改善する見込みであるとの見解や、VIがいま一番力を入れているのは、建築分野で、建築家や設計者を対象とした教育プログラムやグリーンビルディング基準作りに積極的に参加することにあることが紹介されました。また、塩ビ製品の良さを知ってもらうための活動として「塩ビ推進ネットワーク」を組織し、活字媒体やインターネットを使った情報提供を広めているとの紹介もありました。米国では、科学的な根拠を持たないハロゲンフリーの動きがあり、州レベルの規制法案が数多く用意されているものの、そのほとんどが廃案になっていることも紹介されました。例えば、2008年と2009年、カリフォルニア州で提案された塩ビ包装材料の使用禁止法案は否決されたとのことでした。

今回のセミナーには、大阪会場に約70名、東京会場に約100名の参加をいただきましたが、講演会だけでなく、その後行われた懇親会も、講師の方と多くの方が直接話をするのができ盛況に終わりました。(了)

随想

オックスフォード便り(その1)

関東学院大学 織 朱實

突然ですが、英国のオックスフォードにいます。オックスフォードというと、「ああ！米国なんですね(たぶん、ハーバードと混乱しているのでしょうか)」とか「ケンブリッジですね！(だから、オックスフォードですって！笑)」という感じで、かなりの人が混乱しているようです。実は、私もこちらに来るまでは、「えーと、ケンブリッジが英国で、ハーバードが米国ボストン」と考え込むことしばし。まあ、そんなものですよ。なにはともあれ、1年間の英国滞在、「あれ？これはなんだ？」とか「綺麗！さすが英国！」とかの様子を少しづつお知らせしたいと思います。

まずは、1年間の生活の拠点となるおうち、典型的英国のフラット(3階建て)。家の中に暖炉があるのが、いかにも英国！という感じですね(とはいえ、これは「偽暖炉」実はガストーブなのです。それでも、火が部屋で燃えているのは心が落ち着きます)。そして、庭のバラ。英国ではどの季節でも、バラが咲いているそうです。そして、みんな丈夫！



庭の隅でも、川沿いでも、これでもか！！
って感じで、がしがし咲いています。だから
小説でも映画でも、あんなに惜しげもなくバ
ラが登場するのか、と納得！日本だと、高級
なお花というイメージがありますが、ここ
では普通にどこの庭にでも咲いているお花、
って感じです。



素敵な英国生活・・・という感じですが、
一軒家生活も初めてで、その上英国では Do It
Your Self が普通！そして、なにもかも普通に
壊れている！！電球を替える、ドアの建付け、壊れた門の修理、自転車の組み立て等。
今まで経験したことのないような Do It Your Self 作業が、到着初日からてんこもり。電球
一つ変えるにも、部屋ごとに取り付け方法、電球のソケットの形態が異なる、すんなり外
れてくれない。改めて、JIS規格って凄い、日本はなんて生活しやすい国なんだ、と実
感。

さて、オックスフォード大学、といっても38のカレッジの総称でオックスフォード大
学という大学があるわけではありません（キャンパスもないので、米国からの留学生から
よく「どこがキャンパスなのですか？」と聞かれるそうです）。学部ごとの共通の講義があ
ったり、中央図書館の機能を果たすボドリアン図書館があったり、カリキュラム策定やネ
ットワークなど統一され管理する組織も一つ、コース開始時期もテスト時期も一緒！とい
う感じで機能的なものは一つになっています。大学手帳も共通！それぞれのカレッジは、
学生にとって、寮と食堂と Tutorial（家庭教師の語源。少人数のゼミ形式の授業。1対1の
時も、1対2 - 3のときも）の場所、カレッジによっては講義形式の授業もありますが、
基本、講義は各学部ごとの共通講義。

写真は、ハリー・ポッターで有名（そして、オッ
クスフォードでもっとも有名）なクライスト・チャ
ーチ。ハリー・ポッターの食堂のシーンで使われた
食堂ですが、実際に見ると「え？こんな狭いの？」
とびっくりします。ハリー・ポッターでは特撮技術
を駆使して長く見せていたのですね。先生がたが食
事をする場所は、High Table と呼ばれる上座、先生
はガウンを着てお食事（これは、借りられます。伝
統的なオックスフォードの風景ですね）。もっとも、
新しい大学院生が中心のカレッジでは、こうした
High Table などはなく、先生も生徒も一緒！日本の
学食のような場所もあるそうです。食堂は、学生で
なくてもお金を払えば食事ができる（大体3 - 4ポ
ンド）カレッジもありといろいろです。私も、自分
のカレッジ以外の食堂にも、1年間に挑戦しようと
思っています。



今回は、「え？英国これはなんだ！」とびっくりしたことをお知らせしますね。（つづく）

編集後記

東京都内は未だですが、東京周辺では紅葉が色付き始める頃となりました。ところで、民主党政権となって1ヶ月余りとなりました。鳩山首相は地球温暖化の目玉として2025年CO2削減25%を国連に高らかに謳いあげました。まさに政治主導でぶち上げたハイレベルな目標です。実行に当たっては、政治主導にしても官民挙げての協力体制が求められ、新政権にはその手腕が問われるところでしょう。



今回が私にとって最後の編集後記となりました。2007年7月より2年余りの間でしたが、編集メンバーの一員として携わってきました。今後も未永くメルマガご愛読の程、宜しくお願い申し上げます。(古鍋)

関連リンク

[メールマガジンバックナンバー](#)

[メールマガジン登録](#)

[メールマガジン解除](#)



編集責任者 事務局長 東 幸次

東京都中央区新川 1-4-1

TEL 03-3297-5601

FAX 03-3297-5783

URL <http://www.vec.gr.jp>

E-MAIL info@vec.gr.jp
